茨城百景にも選ばれる福岡堰の桜並木

夢つなぐ みらいへ

2016 10th Anniversary つくばみらい市

市章 ［自然との共生、住民の発展と飛躍］

つくばみらい市の頭文字「つ」と「み」をモチーフに、青と緑は空と清流に育まれた歴史と文化の田園都市を、赤は情熱と輝きと協力をイメージした太陽を表現。全体のフォルムは、はばたく鳥をイメージし、「つくばみらい市」の発展と飛躍を象徴している（平成18年3月27日制定）。

市の花 なのはな ［人に元気と未来への予感］

早春のおだやかな日差しを浴びて、小貝川沿い一面を黄色に染める様は、人に元気を与え、明るく未来に伸びるつくばみらい市にふさわしい花である。

市の木 さくら ［春の茨城百景を美しく彩る］

身近な樹木で、特に福岡堰の桜並木は、「茨城百景」にも選ばれており、美しく咲く風景は人の心を和ませる力があり、自然豊かなつくばみらい市にふさわしい木である。

市の鳥 ひばり ［明日への夢と希望を高らかに］

天高く元気にさえずる姿は、のどかな中にも明日への夢と希望をふくらませる力強さがあり、発展・躍進するつくばみらい市にふさわしい鳥である。

市制10周年 そして、未来へ

2016
- イメージキャラクターが決定
- 戦没者追悼式を実施
- 千葉県香取市とふれあい交流協定を締結
- 市制施行10周年記念式典を開催
- 市立陽光台小学校が開校
- 「成長力ランキング」日本一を達成
- 人口が5万人を突破

2015
- 関東・東北豪雨災害が発生

2014
- 認証特産品「みらいプレミアム」に22品目を認定
- 豊体バイパスが開通
- デマンド乗合タクシー「みらいくん」が運行開始
- 小絹児童館がオープン
- みらい平コミュニティセンターが開館

2013
- 埼玉県伊奈町と友好都市および災害協定を締結
- 守谷～みらい平間で都市軸道路が開通
- 市内全校で小中連携教育がスタート
- 伊奈・谷和原丘陵部整備完了記念イベント“ようこそ！みらいへ”を実施
- 初代観光大使が誕生
- 千葉県浦安市と災害協定を締結

2012
- 総合計画新基本計画を策定
- 総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブみらい」が発足
- 「市長と“みらい”を語る集い」がスタート

2011
- 東日本大震災が発生
- 東日本大震災「復興応援切手」を発行、販売
- 幼保一体型施設を開所
- 合併5周年記念式典を挙行

2010
- JA農産物直売所「みらいっ娘」がオープン
- 第2代市長に片庭正雄氏が就任
- 「市長への手紙」がスタート

2009
- 板橋コミュニティセンターが開館
- 市制3周年記念 NHK「真打ち競演」公開録音を実施
- 第1回中学生議会を開催

2008
- 第1回市議会議員選挙を実施
- 総合計画を策定
- 消費生活センターを開設

2007
- みらい平駐輪場を整備
- コミュニティバス「みらい号」が運行開始
- 防災無線を統合

2006（平成18年）
- つくばみらい市が誕生
- 初代市長に飯島善氏が就任
- 市の花木鳥が決定、市民憲章を制定

つくばみらい市誕生

伊奈町 × 谷和原村

2005年 伊奈町「きらくやまふれあいの丘 世代ふれあいの館ホール」で行った合併協定調印式
写真は左から飯島善 伊奈町長（当時）、橋本昌 茨城県知事、鈴木亮寛 谷和原村長（当時）

ワープステーション江戸

間宮林蔵記念館・間宮林蔵生家

板橋不動院-本堂

ロケ地-小目沼橋

楽しもう、つくばみらいの歴史と文化

トマト

巨峰

お米

つくばみらい市認証特産品 みらいプレミアム

味わおう、つくばみらいの“大地の恵み”

市のイメージキャラクター
みらいりんそう

［つくばみらい市10年の軌跡］

つくばみらい市は、2016年で市制施行10周年。
これからも自然の美しさや伝統文化、歴史を大切にしながら、「住んでみたい」「住んで良かった」「住み続けたい」と思っていただけるまちづくりをめざし、夢を“みらい”へつなげていきます。

つくばみらい市

人口5万人都市へ
成長力ランキング 全国No.1※
※（株）東洋経済新報社～H.27.6発表

つくばエクスプレス TSUKUBA EXPRESS

緑と水が豊かな
首都圏近郊田園都市
都心からのアクセスを短縮
常磐自動車道谷和原IC
秋葉原から**40**分

国指定重要無形民族文化財の小張松下流綱火（左）と高岡流綱火（上）

つくばみらい市の施策目標
“みらい”を担う子どもたちに誇れるまちづくりに向けて
自然や伝統を子どもたちへ

2013年 伊奈・谷和原丘陵部整備完了記念イベントで行われた日本一（当時）のテープカット